

さいたま市議会議員

土橋

ゆうじ

2016.07. vol.5

発 行：さいたま市議会議員 土橋 勇司

市政レポート

市議会6月定例会

文教委員会で食育・学校の 安心・安全など質問 投票率向上へ臨時期日前投票所の開設を可決

さいたま市議会6月定例会（5月26日開会）が6月17日に閉会しました。

今年度、土橋勇司市議は文教委員会、予算委員会、医療提供体制・待機児童対策特別委員会に所属。文教委員会では議案外質問をしました。さいたま市は昨年度に政令指定都市では初となる、全市立小中学校に給食室を配置しています。この事を踏まえて、食育に対する取り組みや成果などの確認、学校警備体制の強化提案や子どもたちに対してのネットリテラシー教育、小学校の生徒数増加による教室確保の問題などについて質問しました。本号ではその要旨を報告します（2頁に掲載）。

◀ 「臨時期日前投票所の開設」について、本会議場で討論をする土橋勇司市議。

6月定例会では、期日前投票所を浦和コミュニティセンター（対象：浦和区・南区）をはじめ、イオンモール美園（対象：緑区）とイオンモール与野（対象：西区・大宮区・中央区・桜区）に設置する提案がありました。セキュリティ問題や公平・中立な投票場の確保など様々な問題が危惧されます。議論を重ねた末、投票率の向上をめざす観点から、選挙管理委員会に「セキュリティ対策の構築」や「公平・中立な投票の場」の確保など、厳正な対応を求める付帯決議と共に可決されました。

皆さまの要望に応えるため日々全力 地元事業が着々と進行中!!

ふれあい公園が完成！

白鍬農園跡地に整備していた「白鍬ふれあい公園」が完成しました。子ども向け遊具をはじめ、腹筋ベンチなど大人用の健康遊具も設置。さらにはベンチはかまどとして、ソーラー照明灯は停電時の照明として利用できるなど、防災機能も備えています。



交差点改良が進行中

下大久保地区的交差点を改良整備しています。



歩道を整備しています

市道(五ヶ地区)の歩道整備が進行中です。



今年度の役職



文教委員会※1

予算委員会※2

医療提供体制・待機児童対策特別委員会※3

大久保地区青少年健全育成会 副会長
自由民主党 さいたま市桜区支部 副幹事長

※1：文教委員会（定数12人）の付託事項：スポーツ局及び教育委員会に関する事項（予算委員会の所管に属するものを除く）

※2：予算委員会（定数20人）の付託事項：予算、補正予算及び暫定予算に関する事項

※3：医療提供体制・待機児童対策特別委員会（定数15人）の付託事項：基幹病院の新設等に伴う医療提供体制に関する調査研究及び待機児童対策に関する調査研究

1981年（昭和56年）1月10日生まれ（35歳）

国士舘大学 工学部建築学科 卒業

衆議院議員 神山佐市 公認秘書

衆議院議員 自民党埼玉県連会長・

前総務大臣 新藤義孝 秘書

2015年 さいたま市議会議員 初当選

DOBASHI Y

学校給食について(食育の成果と地産地消の取り組み)

食育について……………

Q 土橋市議 近年、偏った栄養摂取や食の簡素化などが報道されている中、学校給食は大きな存在となっている。給食を通じて地域理解や食文化の継承、自然の恵みの大切さを理解する貴重なツールではないかと考える。児童生徒に給食を通して何を伝えようとしているのか、またこれまでの成果について伺う。

A 学校教育部長 栄養バランスや規則正しい食生活が大切であるということを、具体的には小学4年生には体育科の授業の中で、また中学校では技術・家庭科の中で献立、調理実習などで取り組んでいる。成果としては、食べ物を大切にする意識が高まっていると考える。

Q 土橋市議 地産地消について、子ども達はどのように理解しているのか伺いたい。

A 学校教育部長 小学5年生の社会科で食料生産という授業がある。この中で地産地消の取り組みについて学んでいる。授業以外でも、給食で地元食材が入っているときには、生産者を紹介するカードを給食に付けて説明するということもある。子ども達の関心を高める授業を行っている。

食材について……………

Q 土橋市議 食材について伺いたい。文科省は学校給食の地場産物の使用割合を平成27年度までに30%以上とする目標を定めている。さいたま市の使用割合を聞きたい。

A 学校教育部長 平成27年度は28%となっている。



Q 土橋市議 30%に到達するよう頑張っていただきたい。

次の食材の仕入れ先は誰がどのような基準で決めているのか。生産者との意見交換の場などがあるのか伺いたい。

A 学校教育部長 各学校の選定委員会(校長、学校栄養士、給食主任教諭、PTAの方など)で決めていく。選定基準は、市学校給食献立マニュアルと市学校給食衛生管理マニュアルで示されている。

地元生産者と学校栄養士の意見交換の場は、とても大事だと考えており平成19年度から実施している。

学校生活の安全安心について

学校警備体制や事故等の防止策について……………

Q 土橋市議 事件事故に100%の対策はないと思う。警備体制の継続・強化や見直しは常に考えしていく必要がある。現在の警備体制について伺う。

A 学校教育部長 授業時は全ての市立小学校に学校警備員を配置している。また市立中学校には300台以上の防犯カメラを校門や正門等に設置している。

登下校時については、学校安全ネットワーク体制づくりを進めている。防犯ボランティアの見守り隊、子ども避難所の設置等の取り組みを行っている

Q 土橋市議 国が子どもを

対象に、自分自身を守る力をはかる全国調査を検討するという取り組みがある。さいたま市で、自分を守る力についての対策や教えがあれば伺いたい。

A 学校教育部長 小学校で

は、地域の危険箇所にシールを貼って注意を呼びかける地域安全マップを作成。さらには教員と校外に出て具体的に場所を見つける取り組みを進めている。こういった取り組みで、子ども達が地域外でも危険な場所を予測して自分の身を守るといったことにつながるのではないかと考え進めている。

Q 土橋市議 例えば不審者が侵入した際には通報装置が校内全部に流れのような仕組みがある学校があるのか伺う。もし無いならば検討すべきだと考える。

A 学校教育部長 通報装置が設置されている市立小中学校はない。教室の全面に防犯ブザーを置いている小学校は9割ぐらいある。

様々な取り組みを進める中で安全対策を進めていきたいと考えている。

Q 土橋市議 費用もかかる話ですが、前向きに検討していただきたい。よろしくお願いする。

子どもたちを取り巻くネット環境について……………

Q 土橋市議 学校の非公式サイト、裏サイトの中で、特定の人情報が流出したりいじめ問題がある。現実に発見したことがあるのか、また発見した場合は学校に報告しているのか、検証等をしているのか伺いたい。

A 学校教育部長 市では学校非公式サイト等監視業務を行っている。平成27年度、インターネット上で個人が特定できる誹謗中傷など不適切な書き込みは85件あり、教育委員会では当該学校の管理職に連絡をし、児童生徒、保護者に指導した。

Q 土橋市議 引き続き子ども達のより良いネット環境のためお願いしたい。

一方、子ども達がインターネットを正しく使ってもらうことが一番だと思う。具体的な取り組みがあれば伺いたい。また教える立場の先生の、ネットに対しての知識向上のための取り組みについても伺いたい。

A 学校教育部長 ネットトラブルを防ぐためには教員の研修が大事だと考えている。管理職に対して情報システム管理者研修会を実施している。また各学校の情報教育担当者を対象にした研修もやっている。

子ども達に対しては、携帯インターネット安全教室を全小中特別支援学校で実施している。県警サイバー担当の方に生々しい話をしていただくなど取り組んでいます。またネットトラブルから子ども達を守るために、本市で情報モラル学習サイト「スク学ビ」を公開している。



さいたま市政への皆さまの声、ご意見・ご要望をお寄せください。

土橋勇司 政務活動事務所 〒338-0814 さいたま市桜区宿110-4

TEL : 048-854-7918 / FAX : 048-854-7786

E-mail : Info@y-dobashi.sakura.ne.jp http://y-dobashi.jp/

～フェイスブックでも情報発信中!!～

